

桐生繊維業界の実態

平成19年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成19年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象とせず。）

また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	13 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	222 億0,698 万円	
(2) 加工高	27 億0,061 万円	
(3) 販売高	97 億0,004 万円	
計	346 億0,763 万円	
退会団体の収入（推定：前年対比94%）	29 億3,315 万円	
計	375 億4,078 万円	（前年対比 94%）
3. 組合員数（事業所数）	355 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	2,515 人	
5. 一事業所当たり従業員数	7 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	9,749 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成 元年 産地収入	841 億7,076 万円	（前年対比107%）
平成 2年 産地収入	931 億1,687 万円	（前年対比111%）
平成 3年 産地収入	908 億7,740 万円	（前年対比 98%）
平成 4年 産地収入	1,001 億1,232 万円	（前年対比110%）
平成 5年 産地収入	893 億2,611 万円	（前年対比 89%）
平成 6年 産地収入	845 億3,438 万円	（前年対比 95%）
平成 7年 産地収入	733 億6,672 万円	（前年対比 87%）
平成 8年 産地収入	678 億3,478 万円	（前年対比 92%）
平成 9年 産地収入	616 億9,017 万円	（前年対比 91%）
平成10年 産地収入	528 億4,669 万円	（前年対比 86%）
平成11年 産地収入	473 億6,503 万円	（前年対比 90%）
平成12年 産地収入	444 億7,222 万円	（前年対比 94%）
平成13年 産地収入	416 億8,724 万円	（前年対比 94%）
平成14年 産地収入	376 億2,047 万円	（前年対比 90%）
平成15年 産地収入	346 億0,005 万円	（前年対比 92%）
平成16年 産地収入	453 億8,571 万円	（前年対比131%）
平成17年 産地収入	436 億5,236 万円	（前年対比 96%）
平成18年 産地収入	397 億4,442 万円	（前年対比 91%）

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				計 (人)	従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	78	214	265	77	95	651	54
	内地協議会	71	162	292	65	69	588	57
桐生染色協同組合		15	52	16	8	6	82	55
桐生繊維製品協同組合		24	175	244	36	24	479	43
桐生織物産地元売組合		4	7	4	0	2	13	51
桐生糸商組合		12	23	12	19	11	65	52
桐生刺繍商工業協同組合		45	84	128	72	69	353	57
東日本編レース工業組合		11	21	13	21	14	69	50
桐生意匠組合		14	3	4	4	7	18	52
桐生紋紙組合		14	6	0	18	11	35	58
東毛ジャカード刺繍協同組合		9	12	14	9	9	44	46
桐生織物商友会		14	19	5	9	9	42	56
桐生テキスタイル商業グループ		6	36	19	4	1	60	44
桐生和服裁縫組合		38	0	12	1	3	16	46
合計		355	814	1028	343	330	2515	

注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	528,871	62,121	590,992	107	0	100
	内地協議会	321,394	-	321,394	94	0	100
桐生染色協同組合		-	70,000	70,000	100	55	45
桐生繊維製品協同組合		1,167,000	76,280	1,243,280	89	10	90
桐生刺繍商工業協同組合		51,615	55,500	107,115	111	70	30
東日本編レース工業組合		96,473	-	96,473	95	63	37
桐生意匠組合		8,220	-	8,220	99	87	13
桐生紋紙組合		8,100	-	8,100	86	90	10
東毛ジャカード刺繍協同組合		39,025	-	39,025	100	2	98
桐生和服裁縫組合		-	6,160	6,160	92	60	40
合 計		2,220,698	270,061	2,490,759	95	13	87

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	70,000	70	10	90
桐生糸商組合	548,000	98	66	34
桐生織物商友会	76,428	90	10	90
桐生テキスタイル商業グループ	275,576	95	1	99
合 計	970,004	94	46	54

注

(1) 平成16年度調査より、桐生繊維製品協同組合及び桐生テキスタイル商業グループの調査対象企業に変更あり。

(2) 平成18年度調査より、桐生織物商友会の調査対象企業に変更あり。

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	503,992	85	87,000	15	590,992
	内地協議会	321,394	100	-	-	321,394
桐生染色協同組合		69,300	99	700	1	70,000
桐生繊維製品協同組合		1,230,000	99	13,280	1	1,243,280
桐生織物産地元売組合		70,000	100	-	-	70,000
桐生糸商組合		548,000	100	-	-	548,000
桐生刺繍商工業協同組合		107,115	100	-	-	107,115
東日本編レース工業組合		94,544	98	1,929	2	96,473
桐生意匠組合		8,220	100	-	-	8,220
桐生紋紙組合		7,938	98	162	2	8,100
東毛ジャカード刺繍協同組合		39,025	100	-	-	39,025
桐生織物商友会		76,428	100	-	-	76,428
桐生テキスタイル商業グループ		270,064	98	5,512	2	275,576
桐生和服裁縫組合		6,160	100	-	-	6,160
合計		3,352,180	97	108,583	3	3,460,763

5. 各団体の取扱品目

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物協同組合 (広幅協議会)	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
	66	21	9	4	
桐生織物協同組合 (内地協議会)	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
	67	14	13	6	
桐生染色協同組合	合織	レーヨン・アセテート・ キュプラ	綿・ウール等	絹	
	60	27	5	8	
桐生繊維製品協同組合	ニット・ カットソー	ブラウス	カーテン生地	ワンピース	その他
	47	31	10	5	7

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物産地元売組合	帯地	二次製品	着尺	服飾工芸	その他
	55	20	5	10	10
桐生糸商組合	化合織	綿・スフ	絹・その他		
	85	9	6		
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	プラス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
	25	20	15	15	25
東日本編レース工業組合	インテリア	衣料	資材		
	72	15	13		
桐生意匠組合	金襴	インテリア	洋反	帯	その他
	30	24	28	14	4
桐生紋紙組合	紋紙	エンドレス ペーパー	フロッピー (電子ジャカード、ダイレクトジャカード)		
	25	40	35		
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワッペン刺繍	トレーナー	その他
	40	31	14	3	12
桐生織物商友会	帯	二次製品	着尺	和装小物	その他
	45	20	1	30	4
桐生テキスタイル商業グループ	服地	ニット関係 (丸編、ラッセル、トリコット)		その他	
	60	39		1	
桐生和服裁縫組合	きもの	帯	長襦袢	コート・羽織	
	60	5	30	5	

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名	設備名	数量（台）
桐生織物協同組合（広幅協議会）	普通織機	767
	自動織機（片レピア含）	250
	超自動織機（レピア）	408
	計	1425
桐生織物協同組合（内地協議会）	広幅織機	70
	並幅織機	752
	小幅織機	160
	自動・レピア織機	206
	計	1188
桐生染色協同組合	常圧噴射式染色機	68
	高圧噴射式染色機	19
	汎用染色機	20
	チーズ及びケーキ染色機	35
	計	142
桐生繊維製品協同組合	縫製マシン（特殊含）	306
	プレス	47
	編機	30
	その他	239
	計	622
桐生刺繍商工業協同組合	横振マシン	50
	多頭式マシン	370
	計	420
東日本編レース工業組合	ジャカード落下板付きラッセル機	22
	ジャカード落下板付きコンピューター機	7
	チェーンラッセル機	50
	チェーンラッセルコンピューター機	8
	計	87
桐生意匠組合	デザインシステム	32
	拡大機	4
	コピー機	14
	計	50
桐生紋紙組合	デザインシステム	23
	カードパンチ	14
	横彫カットエンドレス	18
	ワンパンチ	6
	計	61
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターマシン	38
	プレス	10
	本縫いマシン及びその他の機械	37
	プリント用製版	4
	自動プリント機	1
	計	90

7. 最近の推移（H19年10月～H20年2月）

団体名	受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
	増	変わらず	下降	前年対比 （%）	増	変わらず	下降	前年対比 （%）
桐生織物協同組合（広幅協議会）		○		102		○		100
桐生織物協同組合（内地協議会）			○	91		○		100
桐生染色協同組合		○		100		○		100
桐生繊維製品協同組合		○		100		○		100
桐生織物産地元売組合			○	90		○		100
桐生糸商組合			○	99	○			110
桐生刺繍商工業協同組合		○		100		○		100
東日本編レース工業組合			○	95			○	95
桐生意匠組合			○	90		○		100
桐生紋紙組合			○	86			○	90
東毛ジャカード刺繍協同組合		○		100		○		100
桐生織物商友会			○	90			○	90
桐生テキスタイル商業グループ			○	90	○			105
桐生和服裁縫組合			○	92			○	92
合計	0	5	9		2	8	4	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成19年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・国内婦人服地については、中国からの製品輸入により、価格ありきで個性のない均一化された商品の動きがここ数年顕著に現れている。また、アパレルも目先の商売を追いかけるあまりに差別化された商品が少なく、消費者へアピールする商品開発が急務になっている。そこで、大いに差別化された産地物への注目度が高まっており、期待は大きい。
- ・和装部門については、昨今、日常的に和服を着用し和文化に関心を寄せている消費者の「和装回帰心」を満足させるような、物語性のある商品が求められている。

平成19年の状況、事業概要

- ・婦人服地部門は、交織織物や合繊糸使いのものが昨年に引き続き好評であった。また、一部原材料の高騰等により採算が悪化したものもあったが、概ね堅調に推移した。なお、3月に開催した2007桐生テキスタイルプロモーションショー（主催：地場産センター）及び10月に開催した桐生テキスタイルコレクション2008AWは盛況のうちに終了し、業界から大いに期待される展示会となった。
- ・和装部門は、和装離れと流通の弱体化による厳しい状況に対応するため、需要開拓、及び新商品開発を事業の柱とし、東京・京都において展示会を開催した。また、若年層消費者を意識して試作開発した製品を、中核展示会である「求評会」にて発表し販路拡充を図った。

今後の課題

- ・原油高騰により原材料費や委託加工費などの値上げが続いており、いかに売価に反映させることが出来るかが課題である。
- ・和装部門は、生活スタイルの変化に伴う和装離れの回避や、業界への不信感払拭、安価な他産地製品・海外製品への対応、消費者に向けての信頼性向上を目的とした品質表示のあり方など、課題は増すばかりである。

桐生染色協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・今年も服地は後染品が主力であった。和装は先染め品が中心ではあるが少量にて安定。

平成19年の状況、事業概要

- ・服地用糸染、和装用糸染ともに前年並みに推移。燃料や染料、助剤は前年より高値。加工単価は若干引き上げられたが収益にはつながらず。現状は厳しいが、今後の先染品の輸出に期待。

今後の課題

- ・委託加工が多く新製品への移行が難しい体質ではあるが、保有する技術力・開発力で製織業者やアパレル業者へ提案出来る、新製品の開発が必要である。

桐生繊維製品協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・アパレルからの受注生産を中心に婦人服を製造しているが、ここ数年、特殊加工を含む中間行程が増加。商品の多様化により多品種小ロット対応を取らねばならず、生産効率が悪い。

平成19年の状況、事業概要

- ・アパレルや商社からの受注（委託加工中心）が主であるが、材料は全て自社手配して海外でのOEM生産を行うところもある。なお、国内生産は多品種・小ロット・短納期により、生産効率の低下・コストアップ・利益率の低下を招き、安定受注が困難な状況である。

今後の課題

- ・商品開発能力をアップさせ、販路拡大を図る必要がある。また委託部門では、生産管理・品質管理を向上させ、得意先との連携をより強化する必要がある。

桐生織物産地元売組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・きものは日本の民族衣裳であるが、生活スタイルの変化（仲人の居ない結婚式や葬式に喪服を着ない人の増加）により需要減退を招いている。消費者ニーズは急速に進み、浴衣は若年層を中心に売れているが、低単価の中国製に押されている。

平成19年の状況、事業概要

- ・大型呉服チェーン2社の倒産（平成18年）の影響を引きずり、また、呉服過重販売の報道記事等の影響もあり、販売不振が続いた。

今後の課題

- ・日本人女性は着物姿に憧れているので、「着る機会の増加」を方策として練らなければならない。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・商品（糸）に対する消費者ニーズの際立った変化は無かったが、石油系原料価格の上昇を受けてか、より特化した製品開発を重要視するお客が増えたようだ。

平成19年の状況、事業概要

- ・石油系原料価格の上昇は、品種によっては2割以上アップのものもあり、お客に理解を得られない場合もあった。しかし、生活資材は総じて需要が安定、また絹糸類も少量とはいえ安定的に需要があった。

今後の課題

- ・中国を含めた海外との取引は今後も減ることはないと思われるので、今まで以上に視野を広く持てるよう、業界の情報交換が必要である。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・他産地に無い、高いクオリティを求め来桐される業者が多い。

今後の課題

- ・中国等、海外の人件費上昇に伴い、一度海外へ流出した案件を再度桐生に呼び戻せるかが重要課題である。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・低品質の中国製品よりも、高品質な国産品が指示されはじめているが、原料高を販売価格に反映できないのが問題である。

平成19年の状況、事業概要

- ・カーテン関係は、中国製品から国産品へと戻ってきているが、マンションや一般住宅等の建築件数減少により、受注件数自体も少なくなっている。また、ブラインド関係は、たて型が多くなってきているが、ヨーロッパ製が主流であり、国産品は良品が少なく、販売量も限定されている。

今後の課題

- ・「原料高の製品安」により、今年は良くない見通しだが努力していくしかない。

桐生意匠組合

平成19年の状況、事業概要

- ・受注減少で厳しい状況にある。

今後の課題

- ・織物メーカーとの情報交換を密に行い、デザインなど付加価値を高めた商品の企画開発を行いたい。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・インターネット等での価格比較が容易に出来るため、価格に対してシビアである。
また、その反面、商品に対する安心感も求められるようになってきた。

平成19年の状況、事業概要

- ・価格の低迷や原材料高騰による商品代、加工代のアップなど、非常に厳しい一年であった。

今後の課題

- ・価格などに左右されないものづくりや、小ロットで出来るオリジナル商材の提案など。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ここ数年、中国を中心とする海外生産の低価格商品と、感性の高い高級品とを求める消費者の二極化が続いており、安物を購入しても満足を得られない消費者が、高級だが上質感のある差別化された商品をデパートや専門店に求めているため、桐生産地商品への要求は継続されている。しかし、受注の中心であった「パネルスカート」は、デザインアイテムが「ブラウス・スカート」に替わり、「ワンピース」や「チュニック」が中心になりつつあることと、市場の需要が一巡したことなどにより、動きが鈍くなってきた。また、08年に入ってからプリントの引き合いが多くなり、ジャガードに代わる動きとなるため、桐生産地には逆風となりつつある。

平成19年の状況、事業概要

- ・「マイクロタフタ」の商品としての目新しさが無くなり、他産地との価格競争やリピート商品の値下げ等、利益が望めなくなっている。一方で、顧客の要求は相変わらず多種多様で、小ロット対応を強いられている。また、原油高等による原糸、染色加工賃の上昇や、店頭商品の動きが鈍く大手アパレルが発注量を控えたことなどにより、厳しい1年であった。

今後の課題

- ・世界で認められるような高技術・高感度商品を生み出し発展していくために、産地全体のレベルアップが必要である。しかし、染色整理のトラブルによる苦情がいまだに減っていないことや、原材料・加工費用コストアップの問題、産地側が主導権を握った商品開発など、課題は多い。

桐生和服裁縫組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・和裁のお客が、海外やミシン縫製へと流れてしまっている。

平成19年の状況、事業概要

- ・腕の良い技能者の減少、技能者育成が出来ないなどの先細り感がある。

今後の課題

- ・海外やミシン縫製には無い、手縫いの良さをアピール出来るよう、組合員一人ひとりが自覚を持ち、また、協力をしていきたい。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	柿沼 洋一	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色協同組合	塚本 祐平	みどり市笠懸町阿左美470-19	40-5152
桐生商工会議所 繊維部会	木村 俊一	桐生市錦町3-1-15	45-1201
桐生繊維製品協同組合	大川 泰正	桐生市広沢町2-3368-2 大丸縫製(株)内	52-6061
桐生織物産地元売組合	木村 俊一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店内	53-5131
桐生糸商組合	川村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	下山 勝	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	中野 隆雄	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生意匠組合	増田 正明	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生紋紙組合	高松 靖郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村 千春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和田 貞之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	阿部 高久	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	江原 毅	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生和服裁縫組合	小室 裕子	桐生市広沢町2-3074-1	53-9789
有限責任事業組合 起龍	丸山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐内	32-5573

事務局 財団法人桐生地域地場産業振興センター内
 〒376-0024 桐生市織姫町2-5
 電話 (0277) 46-1011
 FAX (0277) 40-1300